

こども しんぶん 【番外編】

低い日本の「食料自給率」 21年度は38%

朝食のテーブルに、パンとサラダ、果物、ヨーグルトが並びました。「いただきます」の前に問題です。その食材が日本国内で作られている割合は、それぞれ何%だと思いますか？ 正解は、パンの小麦が17%。サラダの野菜はレタスやキュウリなどの平均で75%。果物も平均すると30%、ヨーグルトのような牛乳・乳製品は27%…。この割合を食料自給率と言いますが、2021年度、日本は全体で38%でした。

目標は **2030年までに45%**

食料自給率アップの
ためのアクション

- 旬の食べ物を選ぶ
- 地元でとれる食材を食べよう
- ごはんを中心に、野菜を使った食事を心がけよう
- 食べ残しを減らそう
- 自給率向上を図る取り組みを知り、応援しよう

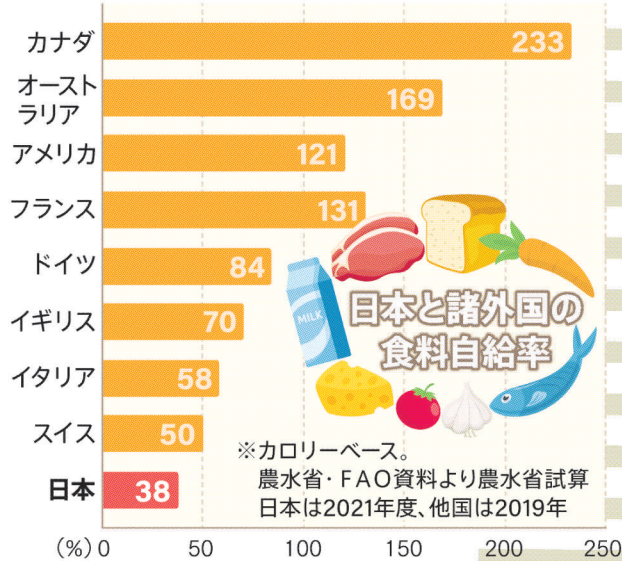
輸入に頼らない取り組みの例

- ・ラーメンに適した国産小麦の開発
- ・飼料用のコメを作る などなど

農水省ホームページより



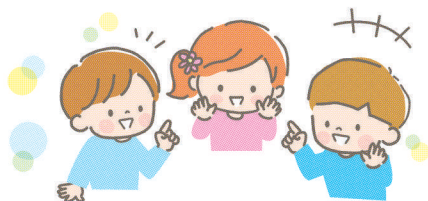
日本は牧草以外のトウモロコシなど輸入飼料(外国から仕入れるエサ)の割合が高いため、牛肉や豚肉の食料自給率は下がる。牧草をおいしそうに食べる肉牛。



昔は高かった日本

自給率は食材の量ではなく、食べると体に取り入れることができるエネルギー量「カロリー」で計算した数字がよく使われます。昔は全体で自給率が70%を超えていたこともありましたが、だんだん下がり、ここ25年ほど40%ぐらいの状態が続いています。

これは、もし外国から輸入できなくなったら、みなさんが今の40%しかエネルギーを取れなくなってしまうということを意味しています。ごはんやおかずの量が5分の2に減ってしまったら、勉強するにも遊ぶにも力が入らなくて困りますね。



海外の自給率は

外国はどうでしょう。農業がさかんなカナダは230%を超えて、自分たちが食べる分の1.3倍を他国に売っています。アメリカは120%で、輸入が多いイギリスやイタリアでも60~70%ほど自給しています。

日本の自給率が低い理由としてよく言われるのは食べ物の好みが変わったことです。昔は主食といえばコメでしたが、最近は小麦で作るパンやめん類が増えていきます。コメはほぼ国産ですが、小麦は輸入がほとんどです。

牛肉や豚(ぶた)肉を多く食べるようになったのは、外国から安く輸入できるようになったからです。しかし国産の牛や豚も輸入飼料で育てられていることが多く、これを差し引いて計算するため自給率は下がり、牛乳・乳製品や卵も同じ理由で低くなってしまいます。

コロナや戦争で…

平和な時はいいのですが、自給率が低いと困るのは思いも寄らないことが起きた時です。新型コロナウイルス感染症(かんせんしょう)が世界中で流行し、一部の国がよその国に売る小麦の量を減らしたのは、自分たちの食べる分が足りなくなったら困るからです。ロシアがウクライナに侵攻(しんこう)すると、アフリカなどの国は小麦を手に入れられなくなり、パンが値上がりしました。

そこで日本が力を入れているのが、自分の国で必要な分の食料を作ったり、どんな時でも売ってもらえる約束をしたりする「食料安全保障」です。食事の時に、これらのことを思い出し、考えてみてください。

